

市議会だより

9月定例会

平成25('13)年11月1日発行



桶川東小学校運動会

主な内容

条例等の議案審議、議決
結果一覧ほか

2～3ページ

一般質問(13人)

3～9ページ

議員提出議案ほか

10ページ

◆ 9月定例会日程 ◆

- 9月 3日 開会、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託、市長提出議案の質疑及び決算特別委員会の設置並びに委員会付託
- 9日 民生経済常任委員会
- 10日 建設文教常任委員会
- 11日 決算特別委員会
- 12日 一般質問 5人(渡邊・保坂・糸井・仲又・高野議員)
- 13日 一般質問 5人(加藤・岩崎・町田・江森・佐藤議員)
- 17日 一般質問 3人(相馬・新島・永野議員)
- 20日 市長提出議案の委員長報告、質疑・討論及び表決、市長提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明及び表決、議員提出議案の上程・質疑・討論及び表決、閉会

議案審議の条例等

全小・中学校の普通教室にエアコン設置へ

平成25年9月定例会は、9月3日から9月20日まで開催されました。今定例会では、市長提出議案15件、議員提出議案3件が上程され、審議されました。結果、13件が原案可決、5件が継続審査となりました。

補正予算

9月定例会の一般会計補正予算(第4回)が上程されました。その中の主な質疑を紹介します。

義務教育施設 空調設備借上料

6億6,000万円

来年度、市内小中学校11校の普通教室にエアコンを設置するため、10年間のリース契約での債務負担行為(翌年度以降の事業を行うための発注を今年度に行うこと)の予算が計上されました。

問

来年度、11校一斉に設置するといふことだが、利息等も含まれているのか。

答

利息を含めて10年間のメンテナンスや修繕が必要となった場合の費用が含まれています。

問

市内業者優先で市内経済循環の考えはあるか。

答

リース契約の仕事様書の中に、地元業者を使うようにといった配慮をするよう努めたかと思っております。

問

入札の際に、そうした項目を入れ、指導していくのか。上尾や川島もリースと聞いているが、どの程度の調査・把握をしているか。

答

これからの検討課題です。かなり大きな事業となるので、電気業者に限らず幅広い業者の参入が可能となっ

問

てくるので、研究をし、何らかの形で生かすよう努めます。

問

電源はどうするのか。

答

エアコン用の受電施設を追加する計画です。

保育所耐震補強事業 (プール設置工事)

210万円

坂田・北保育所の耐震補強工事に伴って、仮設保育所にプールを設置するものです。

問

プールの大きさは、

答

現在、北保育所で設置しているものと同規模のものを予定しています。大きさは、4m×4.5m、水深が55cmで、プラスチック製です。

問

工事の内訳は。プールの本体と運搬、組み立て工賃を含めたものです。

答

坂田・北保育所等の耐震補強工事期間中に仮設の施設を借り上げるための予算で、坂田東西保留地に平成26年4月から11か月間、仮設保育所を設置するものです。

仮設福祉施設借上料

5,600万円

金額の内訳は、ほかに建築工事、外構工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事及び解体撤去工事、それに消費税、公租公課などを含んだ合計です。

問

この検討委員会

答

この検討委員会では、この計画に反映させていくのか。

問

昨年年度費用をかけた調査内容とその結果は。

答

昨年度の調査内容の結果は、旧若宮寮跡地の整備基本計画を作成するための経費として、280万円を新たに計上するものです。

旧若宮寮跡地整備 基本計画作成委託

280万円

この結果は、旧若宮寮跡地の歴史と現状調査委託というところで、並行して旧若宮寮跡地検討委員会が設置されました。この検討委員会の資料ともなるべく、現状調査等を行い、その結果、現存している建物が約4棟ありますが、老朽化しているといった予想どおりの調査結果が出ています。

問

この検討委員会

答

この検討委員会では、この計画に反映させていくのか。

問

この検討委員会

答

この検討委員会では、この計画に反映させていくのか。

問

この検討委員会

答

この検討委員会では、この計画に反映させていくのか。

問

この検討委員会

条例

桶川市子ども医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例

この条例は、子ども医療費、重度心身障害者医療費及びひとり親家庭等医療費について、窓口払いを廃止するためのものです。現行の方式は、医療機関の窓口で医療費の自己負担を支払い、申請月の翌月末に指定口座に振り込まれる償還払い方式です。

9月定例会議決結果

議案番号	案 件	結 果
第52号議案	平成24年度桶川市一般会計歳入歳出決算の認定について	■
第53号議案	平成24年度桶川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	■
第54号議案	平成24年度桶川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	■
第55号議案	平成24年度桶川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	■
第56号議案	平成24年度桶川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	■
第57号議案	平成25年度桶川市一般会計補正予算(第4回)	◎
第58号議案	平成25年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	◎
第59号議案	平成25年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)	◎
第60号議案	平成25年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第1回)	◎
第61号議案	平成25年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	◎
第62号議案	桶川市こども医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例	◎
第63号議案	損害賠償の額を定め、和解することについて	◎
第64号議案	市道の路線の認定について	◎
第65号議案	市道の路線の廃止について	◎
第66号議案	教育委員会委員の任命について(前島 富雄氏)	○
議第4号議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	◎
議第5号議案	桶川市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	◎
議第6号議案	地方税財源の充実確保を求める意見書	◎

注：◎原案可決 ○同意 ■継続審査

問 今回の条例改正は、これまでの医療機関ごに支給申請書を記入し、提出する手間を省いて、医療機関等の窓口での支払いを廃止する現物給付方式を導入するものですか。

答 「市長の指定する医療機関等」の範囲とは、桶川市内にある医科、歯科、保険調剤薬局、柔道整復、指

問 市内で協定書を締結しない医療機関等及び市外または県外の医療機関等については、従前の窓口払い、いわゆる償還払い方式で実施します。

問 他市との相互利用については、他の自治体との連携は、県下統一基準で実施することが一

番の理想ですが、そこまでは相当時間がかかると考えられますので、まずは市内で、現物給付方式を実施していきます。

人事関係
教育委員会委員に前島富雄氏を同意

川田谷弥院前の市道1405号線と市道1406号線が市道1405号線に接道する間の道路整備について

渡邊 光子

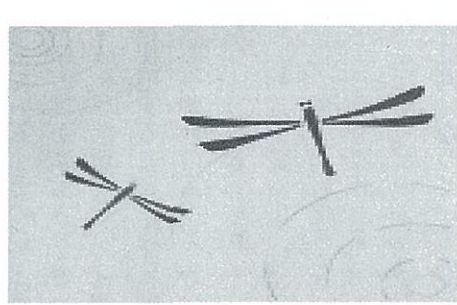
問 ①、川田谷の市道1405号線の道路整備は、当市道の片側に面する地権者全員の道路後退部分の寄付の承諾書が市に提出されることで、その片側だけを優先して道路側溝整備をしていくと地元への説明があったと聞く。東松山市駅周辺整備では「道路後退の協力が得られた所からデコポコになるが整備していくことにより整備完了後の道路形態が予想でき、協力が得られていない方から協力が得られやすくなる」という説明があった。桶川市でも東松山市と同じことが出来ないか伺う。

現在関係地権者15名のうち10名の道路後退用地部分の寄付申込書が提出されています。軽自動車も通るのがやつの非常に狭い道路の状況ですので、東松山市と同様に一定区間の整備も検討していきたいと考えています。

答 ①、市道1405号線は、幅員1.82mから2.91m、延長102・68mで認定しており建築基準法第42条第2項に基づき建物を建築する際には、道路中心から2mの後退が必要な道路となっています。この路線の整備については、地元からの既存施設の雑排水管の維持管理に苦慮しているとの訴えにより道路側溝の整備要望を受けました。

②、市道1406号線が市道1405号線に接道する間は用地買収による整備です。地権者の方から内々で買収であれば応じてくれるのではないかとという感触を今得ているところです。しかし、整備効果という観点から1405号線の拡幅に全力を挙げていきたいと考えています。

②、市道1406号線が市道1405号線に接道する間の道路拡幅整備に伴う畑の地権者の協力については、担当課で「地権者に対応する」と言うことだった。相続等の発生などにより



一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

北本市との連携について

保坂 輝雄

問 桶川市と北本市とは、政策的に同じ方向を向いていないとの声が多く寄せられている。

答 しかし、両市は圏央道の南北にあり、圏央道共栄圏と位置づけて共存共栄を図る必要があると考える。そのためには、お互いに本音で話し合うことが大切である。

問 両市の市長とも40代の若さであり、公式、非公式を問わず、市長同士が腹を割って話し合う機会を持つことが必要だと思いが、市長の見解は。

答 私も同感です。様々な会合や議会の昼食時等に、北本市長と雑談も交えて情報交換、意見交換を行っています。今後も話し合いの場を設けていくつもりです。

問 北本市は9月議会会で桶川駅と北本市間の新駅建設の是非を

後の状況は。
答 実技指導主体の安全教室は、今年度実施できませんでした。しかし、大変有効であると考えますので、引き続き中学校に計画策定をするよう指導します。

問 安全教室を受講した小中学生に対し、一種のモチベーションを与える手段として、自転車運転免許証を交付することを提案するが、桶川市の見解を伺う。

答 日出谷小では既に自転車運転免許証の発行を実施しており、子供たちの評判も大変よいとのこと。来年度以降、他の小中学校にも広く進めていきます。

問 先日、神戸地裁で自転車事故に9500万円もの損害賠償の支払いを命ずる判決が下され、市民の関心も高まっている。6月議会で中学校安全教室を実施するとの答弁をいただいたが、その

氏名	埼玉 ポッポくん	交通安全
学校名	さいたま市立〇〇小学校	自転車運転免許証
交付	平成 25年 4月 1日	小学校卒業まで有効
交通ルールを守ります		
〇〇市教育委員会・〇〇警察署		

自転車運転免許証 (さいたま市)

生活保護制度について

糸井 政樹

問 この制度は資産や能力等全てを活用してもなお、生活に困窮する方々に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する制度である。現在の受給者は増加の一途をたどり、昨年200万人を大きく超え、支給額も3兆7000万円を超えようとしている。

答 ①平成24年度は被保護世帯が489世帯、人数は722人です。②同年度で約11億1000万円です。③23年度が申請117件、開始件数112件、24年度が申請件数89件、開始件数84件です。④23年度が81件、24年度が76件となっています。⑤世帯の生活状況、就労状況、健康状況、入院や入所の状況等により訪問を行い、生活改善に向けた指導を行っています。

問 桶川駅東口整備について

答 今後の街づくりを進めていく上で、南小跡地は重要な役割を担うものであり、いずれもスピード感のある事業の進捗が求められているものと認識しています。

要な事業の一つであると

「5歳児健診」の導入と発達障がい児の支援体制について

仲又 清美

問 桶川市の乳幼児健康診査は、4カ

月、1歳6カ月、3歳3

カ月児の健診が実施され

ているが3歳から小学校

入学前の就学時健康診断

までの間に開きがある。

近年増加傾向の発達障がい

の早期発見・早期療育

のための支援が重要であ

るため「5歳児健診」の

導入・発達障がい児の支

援体制の方向性を伺う。

答 「5歳児健診」

の導入には、最近

鴻巣市が発達に心配があ

る5歳児を予約制で実施

しています。本市の場合、

5歳に限定せず、発達に

心配がある時点で児童発

達支援センター分室事業

の医師発達相談や幼稚園

や保育所での巡回相談を

実施し、必要に応じ親子

教室等の療育事業につな

げ、早期支援に取り組み

今後も、5歳児という形

で特別にくくらず、現状

の体制で発達障がい児の

フォローに努めます。

問 就学児健康診断

時の発達におくれ

がある子どもの保護者か

ら待ち時間等、配慮して

ほしいとの声があった。

今後の対応について伺う。

答 待ち時間、受け

付け時間の変更や

受診の方法について、保

護者の意向に沿った対応

で、今後も保護者の声に

耳を傾け、心情に配慮し、

受診できるように努めます。

多重債務事業について

本市は、6年前

に全国に先駆けて、

消費者金融などの多重債

務で生活に困っている方

の相談事業を開始し成果

が出ている。借金の悩み

を抱える市民が、経済苦

から命を落とすことにな

いよう希望を持って生活

できる多重債務相談支援を充実してほしい。

答 本市では、借金

という経済的な理

由だけで自殺にまで追い

込まれることがあつては

ならないと相談者の生活

再建を第一に考え、横断

的な庁内連携を図り、速

やかに対応するため、市

長直轄部門の秘書室に専

門窓口を設置しました。

相談の流れは、相談内

容を伺い、専門家におつ

なぎして債務整理を行っ

ています。

今後も庁内連携を図り

生活再編のための対応を

心がけていきます。

「核兵器禁止署名」と市長の考え方について

高野 和孝

問 毎年、広島、長

崎に向けて「平和

行進」が行われ、7月に

は平和行進が桶川に寄っ

た。その際に行進旗のペ

ナントには近隣の鴻巣、

北本市の各市長等がペナ

ントに署名をしている。

ところが今年、桶川は

新市長に署名を断わられ

た。他市においては、み

んな署名をいただき、桶

川の歴代の市長などから

も署名をいただいている。

なぜ、新市長はだめなの

か。

答 大変暑い中で冷

たい麦茶を用意し、

市民ホールに届けました。

今回、ペナントの購入と

サインは遠慮させていた

だきました。しかし、平

和への思いは何ら変わり

はありません。今後も戦

争の悲惨さと平和の大切

さをしっかり後世に伝え

ていくことが重要です。

問 市長もやっぱり

平和愛好者と答弁をいた

だいた。今回のペナント

にサインしなかったこと

は何があつたのでないか

という気がする。それが

市民が一番聞きたいこと

なので、もう少し具体的

に答えを。

答 平和の署名とい

うのが何かペナン

トを購入して、そこにサ

インすること。それが、

署名になるようなお話し

を聞きまして、それはち

よつと今回は遠慮させて

いただきました。来年は

その辺の中身をきちんと

ご説明いただいで考えさ

せていただきます。平和

に対する強い思いは持つ

ておりますので、次の世

代に語り継いでいかな

てはいけないと思います。

問 市役所庁舎の建設

について

用地確保の進行

状況にいて伺う。

答 予算1億4800万円

は駐車場の部分の

予算で、なるべく早く契

約する方向で調整を進め

ています。

問 仮庁舎の建設に

ついて伺う。

答 分庁舎のある所

の市有地に予定し

ています。

問 市民が便利に利

用できる庁舎、職

員にも仕事しやすい庁

舎実現のため市民の声を

聞いてほしい。

答 基本計画等につ

いては、10月から

公共施設での閲覧やホー

ムページで公表し市民の

意見を聞き基本計画を策

定します。

問 建設費と財源の

予定について伺う。

答 総額38億5000万円

を想定しています。

財源については、庁舎建

設基金を基本とし活用可

能な防災や環境対策等の

補助金の導入を検討しま

す。

多重債務相談

借金の解決は必ずできます！

～ひとりで悩まず、まずは相談しましょう～

桶川市では、消費者金融などの高金利貸付を利用して、その返済ができなくなって、生活に困っている方の相談を行っています。一日でも早く借金問題を解決し、安心した生活を送りましょう！

教育について

加藤 ただし

問

子供たちの将来の希望や夢を応援し、教育においても子育てをするなら桶川をイメージして、個性をいかす環境づくりについて、①スポーツの取組みでは、桶川中学校ソフトボール、桶川西中学校陸上1500Mで県大会を優勝し関東大会に出場しており、他の競技も輝かしい成績をおさめている。これからも、子供たちの可能性を支える環境を確保するため、子供たちの視点で不足しているものや必要なものを確認し、環境づくりの参考になりたいと考えるがいかがか。

答

②学力確保の取組みでは、全国学力テストの上位の秋田県や愛知県の取組みを研究し桶川独自の学力向上の取組みを確立したいと考えるがいかがか。

①子供たちの視点に立った環境整備

問

子供たちの無限の備を、子供たちの可能性を伸ばし、夢と希望の持てる桶川市の子供たちの育成のため、積極的に熱意を持って支援します。②先進市町の取組みを十分に研究し、子供たち、保護者から桶川の学校でよかったと言われるよう努力します。

答

埼玉県内においては、市町村間

相互応援の基本協定を結んでおり、県外の医療機関の支援は、埼玉県と連携を進めます。

市民の安心・安全の確保について

問

街路灯について、東口駅通りや中山道の街路灯は、駅を利用して通勤・通学ができるよう安全を担保しているが、設置から25年も経過している地域もあり、老朽化している現状がある。管理している商店街各組合共に電気料金の支払いでさえ厳しい状況がある。今後の市の対策について伺う。

答

東口駅通りや中山道の商店街で管理している街路灯は、かなり老朽化し時期的にも危険と考えられます。建てかえにおいては、市の支援が必要と考えており、補助金等の導入も検討し商工会や街路灯組合と協議をさせて頂きます。

学校通学路の安全対策について

岩崎 隆志

問

平成24年度の安全点検の進捗状況

安全点検で上げられた市内60カ所のうち、意識啓発等を除いた44カ所の危険箇所については、現在35カ所が、既に対策を終えています。また、関係部協議となっていた箇所が18箇所ありましたが、そのうち10カ所は、対策済みとなっております。残りの8カ所につきましては、ただいま

問

教育長、桶川西小学校長、桶川西小学校PTA会長連名による要望書を、去る8月27日に北本県土整備事務所長宛て提出したところです。

問

住宅火災警報器の新たな周知方法

答

桶川市総合防災訓練等におきまして、県央のほうで来ていただいて、住宅の防火対策コーナーというのを設け、そこで火災警報器の重要性とか、火災予防の周知を行うことを考えています。同様に、いろいろな人が集まる機会を利用して周知をできればと考えています。

住宅の火災について

問

火災警報器設置率向上に向けての、本市の取り組みは。

答

埼玉県央広域消防本部において、ホームページや県央だよりに掲載するとともに、市の広報と同時配布により、各自治会に回覧するなどし、周知を図っています。火災警報器の設置について、桶川市ホームページ上の防災と建築関連の2カ所で掲載し、周知を図っており、火災予防は市の広報及び桶川市防災ガイドに掲載しています。また、桶川市消

問

県道川越栗橋線の歩道橋設置の現況は。

答

このたび桶川西小学校の通学路にもなっています下日出谷303番地付近に横断歩道橋を設置していただくよう、



薬師堂の新御堂共同墓地について

町田 俊朗

問 薬師堂の新御堂共同墓地について

の現況と今後のスケジュールについて伺う。

答 上尾道路事業により西側の約半分

が移転対象となり、墓地関係者と大宮国道事務所、移転方法の協議を進めてきたが、いまだ結論に至っておらず、明治時代頃に登録された30名を超える登記名義人と権利を相続した400人以上の相続人全員の承諾が必要で、所在確認を進めてきたが、広範囲の個別交渉にまつておりません。今後は移転方法等、課題解決に向け協議を行いながら、並行して相続人全員の承諾を得る為、業務委託を発注し重点的に個別交渉をしていく予定との事です。

問 新御堂共同墓地は全く分断され

異なるケースと思うが、状

況についての見解は。

答 この移転事業は非常にまれなケースであり、上尾道路事業により支障となる新御堂

墓地の入り口道路、休憩所、倉庫、お堂の半分と墓地区画の半分で部分移転した場合、墓地の機能が成り立たない状態になり、又移転に伴う大きな問題点として先に申しました通り、約400名以上の土地相続人全員の承諾が必要な事と、墓地経営者の選定をどうするのか、また全戸移転した場合の移転先の確保などです。仮に土地相続人全員の承諾が得られた場合でも、相続人それぞれの持ち分に応じ土地の補償金を分けて支払わなければならない、新たな移転先の土地購入に全額充てられるのかなどの問題と、土地所有権が無く、永代使用権、いわゆる墓石のみの

権利しかない方の移転問題があるなど新御堂墓地移転に関しては、まだ相当な時間を要する事案であると認識しています。

空店舗の活用について

問 シャッターにベイントアートを商

工会と観光協会、あるいは市民との協働事業としての推進、実行については。

答 ペイントアート

する事により、歩いて楽しい商店街づくりを通じて、商店街活性化に繋がる一つの方策と考えております。

実施につきましては、

ご提案いただいた商工会、観光協会、市民との協働事業として、市内中学校・高校への募集等、様々なやり方が考えられますし、べに花イコール桶川あるいはオケちゃん等、当市のアピール効果は大きく、今後研究していきたいと思えます。

区画整理事業について

江森 誠一

問 上日出谷南、下日出谷東、両区画

整理事業について、西側大通り線の地区界から北側圏央道までと南側県道12号線、川越栗橋線交差点までの整備における進捗状況及び開通時期について伺う。

答 西側大通り線の進捗状況と開通時期ですが、上日出谷南組合地区界から北側の圏央道側道までは対象用地の

売買契約は全て締結済で平成25年度中に土地引き渡しを受け、平成26年度早期に工事を発注し、平成26年度末の圏央道供用開始に合わせ開通を目指しています。さらに、下日出谷東組合地区内は、平成25年度に区域北端エリアの移転対象家屋等4件は、移転契約済みで、年度内に移転完了予定で1件については鋭意交渉中です。平成26年度に最

後の2件の移転をお願いし、こちらの区域も平成27年度に舗装工事を行い

県道12号線以北を全線開通したいと考えています。

問 上日出谷南組合事業における事業

計画第9回変更について県からの認可を、いつ頃と想定しているのか、又、愛宕中央公園跡地をプロ

ポーザル方式で一括売却とのことだが、今後の売却計画について伺う。

答 現在第9回事業

計画の変更認可を県に申請中で、概ね10月末には認可を頂きたいと考えています。又、愛宕中央公園跡地の保留地売却は、例えば敷地に余裕を持った緑の多い戸建て住宅で、全棟に太陽光発電と燃料電池を装備したスマートハウス計画のモデルのような提案を頂ければ、上日出谷南組合事業全体の事業価値の向上

に寄与するものと考えています。

小・中学校普通教室へのエアコン設置について

問 小野市長の公約

である小・中学校へのエアコン設置について購入方法及び設置台数と今後のスケジュールについて伺う。

答 予定している台

数は、11校の普通教室に設置する為、230台程度となる見込みです。

設置方法についてはリース借上げ方式を採用することにしました。又、補正予算の議決を頂いた後、11月中に入札を行い、来年早々に工事を始め、5月の連休頃に試運転を行い、6月から運転稼働したいと考えています。



愛宕中央公園跡地

今後の桶川市の財政は

佐藤 洋

問

県内における5万人から10万人規模の市の中で、当市はトータル的にどのような位置なのか。

答

県内5万人から10万人規模の市における本市の位置については、平成24年4月現在で県内の人口5万人以上10万人未満の市は18団体です。

ご質問にあります位置を判断するというのは非常に難しいものですが、今回は18団体の平成23年度決算に基づく代表的な3つの数値を使いまして、団体間の比較分析を行ないました。

1点目としまして、住民基本台帳の人口ですが、18団体中8番目、2点目としまして、地方公共団体の標準的な収入をあらわす標準財政規模ですが、18団体中10番目、3点目としまして、地方公共団

れています。

人口の減少と高齢化は、自治体の財政基盤を揺るがす非常に大きな問題でして、税収の減収が避けられない中で、医療費や扶助費などの社会保障関係経費の膨張に対応した財政運営をせざるを得ない状況になるものと考えています。

城山公園、小針領家等 スポーツ施設使用料の 統一を

問

今後の財政運営の方向についてお示しをいただきたい。

答

今後の財政運営の方向についてですが、日本の人口減少と高齢化は、これから加速度的に進むとされています。

本市におきましても、30年後の2040年には現在よりも1万2000人少ない6万3000人程度にまで減少するとともに、20%程度の高齢化率、65歳以上の人口の割合ですが、35%を超えることになると推計さ

小中学校へのエアコン設置について

相馬 正人

問

今後の設置予定や方法・方式など決まっている範囲で教えていただきたい。

答

設置予定については、来年度の6月には全11校一斉に稼働できるようにすべく、関係予算を今議会の補正予算案に提出させていただきます。

問

まえ、今後夏季休業日を短縮し、授業時数の確保と教員の指導力向上に向けた研修会の実施など教育の質及び量の双方における改善を目指します。

夏季休業期間のどこをどう短縮するかなどについては、現在検討中です。

坂田保留地の活用について

問

加納公民館・坂田保育所の耐震工事をため、坂田保留地に仮の施設が建設されるが、仮の施設の広場の一般開放は予定しているか。

坂田地区には多くの公園があるが、ボール遊びなどができる広場がなく、せっかく整地するのであれば、地域住民が使えるようにしていただきたい。

答

加納公民館の仮設用地として約500平方メートル、保育所等

の仮設用地としましては2000平方メートル未満を予定しております。両施設ともあくまでも一時的に利用する仮設の施設です。

このため広場の設置は予定しておりません。また、保留地全体を整地するものではありません。

保育所につきましても、仮設用地は最小限の面積にとどめ、「あそぼう会」などの地域交流事業は、仮設用地では実施しないこととしています。

残りの土地におきましても、一部建設発生土の仮置き場としての利用を予定していきまして、さらに土地の形状、高低差の問題、出入り口も限定されることなどから、安全性の確保が困難な状況です。このため現段階では地域住民が利用できる広場として開放することは難しいと考えています。

公共交通機関としてバス路線の拡充について

新島 光明

問 ①圏央道や区画

整理の進展で街は

変わりつつある。市の循環バス路線の見直しは。

②通勤時間帯だけでも1

時間当たり2本程度に増便できないか。③駅西口

からけやき団地間を走る民間バス路線は、最高1時間あたり6本運行されていて大変便利である。

答 このバス路線を下日出谷地区のサン・アリーナや今後できるユニーなどを経由し駅西口に向かう路線に延長することをバス会社に提案してはどうか。

答 ①圏央道及び上尾道路開通に合わせ見直しを予定しています。②朝夕の増便はバスを増やす必要性から現段階では難しいものと考えています。③速やかに関係企業の方に要望していきたいと考えています。

問 ①循環バス路線

の見直しの体制は。

②アンケート等の予定は。

③見直しの際、料金値上げの代わりに、運行本数を増す考えはないか。

答 ①区長会・商工会・警察等の参加で広く意見を頂くような形で考えています。②アンケートは予定していません。③増便の関係は、今ぎりぎりまでバスを運行していきます。また500万円からのいわゆる赤字があり、費用対効果を考える中で検討することになると考えています。

問 ごみ屋敷問題について

の過去2回の質問に対し、「25年度中に条例制定をしてみたい」との回答であったが、現在の進捗状況と今後のス

ケジュールを伺う。本年12月議会に条例案を上程すべく準備を進めています。内容は、ごみ等のポイ捨て・ペット等のふん放置防止に加え、ごみ屋敷問題を含めた総合的な環境美化条例を目指し、10月にはパブリックコメントを実施し、市民の意見を十分踏まえ作り上げて行きたいと考えています。

答 先進自治体では、違反者に対する指導・勧告、命令、公表、代執行等が条文化されているが、素案はどのような内容か。

答 ポイ捨てや犬のふん等では、指導・勧告命令、公表や過料を、ごみ屋敷問題では、指導・勧告程度を考えています。

問 条例があるから機能するものではない。行政の普段の努力で「絵にかいたもち」にならないよう期待している。答弁は不要。

上南区画整理事業の公文書偽造、改ざんは大問題

永野 朋子

問 平成19年の残土

運搬工事の会計処理問題で県に提出した

「始末書」とは何か。

答 組合発注の雑工事19の経緯について、県より報告を行うよう要請がありました。

問 その中の「契約内容以外の必要性が生じた」というのはいつか、その理由は。残土の仮置き場は組合管理の中央公園等も近いのに、なぜ、わざわざ遠くの業者の資材置場に運んだのか。

答 記録がなく日時がわかりませんが、残土の仮置き場が必要になり、発注後に判断されたと考えます。近辺にできなかったのは、はっきりしませんが、何らかの理由で使えなかったものと考えます。

問 県には平成21年からは「ちゃん

やってます」と報告しているが、雑工事でもた公文書偽造を繰り返している。日時のつじつまも合わない。同じ箇所の工事を100万円以下の随契で同じ業者にバラバラに発注しているが、契約日の理事会議事録には、既に工事が終わったと報告しており、書類は後付けだ。

答 確かにご指摘の通り、会議録の中に終わった工事と説明があるので、現場の工事を先に指示し、後から発注したと想定されます。また発注方法についても同じ箇所の同等の工事については、まとめて指名競争入札等で行うことが適切だったものと考えます。

問 賦課金を前にこの様な体質のままでは信頼回復できない。市長の見解を伺いたい。

答 不適切な処理は私も認識しており、

法律を遵守し、市としてもしっかりと指導します。



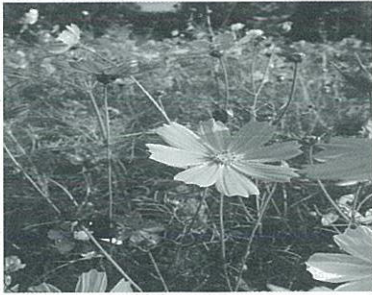
川田谷小の代替給食について

問 給食費と業者への支払内容は。

答 1食47円で47円が牛乳代、400円が委託業者への支払です。

問 洗浄臭、食器に埃、食べかす、タバコ臭などの報告があるが、契約は衛生管理基準法に基づいているのか。ごみも引取るとなっており、廃棄処分費が給食代に入っているが背信ではない。残渣量は把握しておらず、栄養管理上正常でない。

答 法9条は適切と考えます。契約に残渣処理が入っています。



議員提出議案

議員が提出した議案の一部をご紹介します。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改正

議長、副議長及び議員が招集に応じ、または委員会に出席したときに支給される費用弁償について、日額2500円を1000円に減額する「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」が議員提案により上程され、原案どおり可決されました。なお、平成26年4月1日からの適用となります。

桶川市議会政務活動費の交付に関する条例を改正

会派等に交付する政務活動費について、一人年額12万円を24万円に増額する「桶川市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」が議員提案により上程され、原案どおり可決されました。なお、平成26年4月1日からの適用となります。

地方税財源の充実確保を求める意見書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。(中略)

よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

記

1 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について

- (1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など
- (2) 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。
- (3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。
- (4) 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。
- (5) 地方公務員給与の引下げを前提として、平成25年度の地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは、避けること。
- (6) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策と税を新たな創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。
- (7) 偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。
- (8) 個人住民税は、その充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。
- (9) 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。
- (10) 法人住民税は、均等割の税率を引上げること。
- (11) 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。
- (12) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策と税を新たな創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。

構築すること。

《送付先》内閣総理大臣
財務大臣 総務大臣 内閣官房長官 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

お知らせ

12月定例会は、12月9日から開催される予定です。

お詫びと訂正

前号の7ページで新島議員の一般質問の最後の答の中で掲載した写真が上下入れ違いで誤りでした。お詫びして訂正いたします。

また、12ページの「3月議会傍聴者数」は、「6月議会傍聴者数」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

9月議会傍聴者数

月日	男	女	計
9/3	3	2	5
9/9	0	0	0
9/10	0	0	0
9/11	0	0	0
9/12	10	16	26
9/13	4	6	10
9/17	4	4	8
9/20	2	3	5
合計	23	31	54

編集後記

議会は市民の皆様の見を市政に反映し、又市政を監視する権能を十分に発揮するものでなければなりません。

9月3日から20日迄、18日間の会期で行われた9月議会は、この趣旨を最大限発揮するべく熱い論争が展開されました。

議会だよりは、この状況をできるだけ分かり易く市民の皆様へ伝える責務があります。

これからも市民の皆様の意見を真摯に受け止め、より親しんでいただける発刊に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。(市川)

議会だより編集委員会

- 委員長 永野 朋子
- 副委員長 島村美貴子
- 委員 江森 誠一
- 委員 加藤 正志
- 委員 白田 喜之
- 委員 保坂 輝雄
- 委員 市川 幸三